

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	生活排水の適正処理	コード	作成者	役職	下水道課長
		05-08-33	藤森 亨	氏名	藤森 亨
			電話	66-9701	
			このシート作成に要した時間	7.0 時間	

この施策の アピール ポイント	下水道整備計画を見直し、下水道整備区域の縮小を行い、整備区域外への対策として、合併処理浄化槽設置補助金を増額し、設置を推進している
-----------------------	---

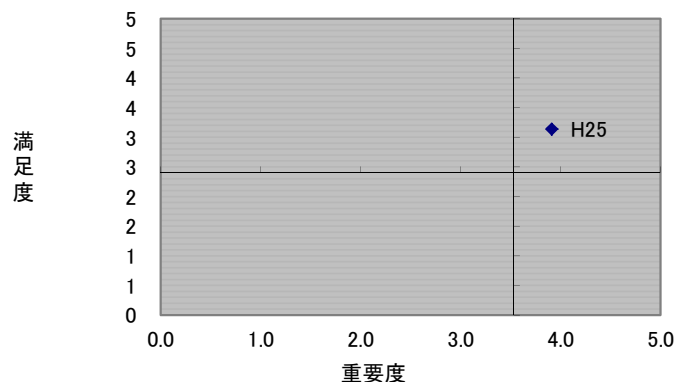
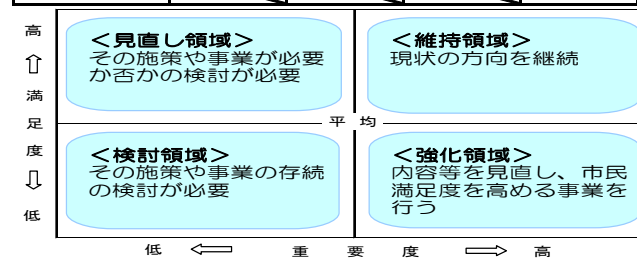
この施策の 平成25年度の 施政方針	下水道について、畠田・二ノ樋・香登西・徳当・木生地区、三石駅周辺など約19ヘクタールを整備するとともに、新たに伊里中・木谷・友延・麻宇那西・穂浪の一部、衛生センター、船坂・土師神根の一部約74ヘクタールを整備区域として認可を取得し、実施設計を行なっています。また、整備区域外の世帯に対しては、浄化槽設置補助金事業を継続し、合併浄化槽の普及促進を図っています。
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	生活環境政策「快適・活力」
	基本計画 (中項目)	快適な生活が送れるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が健康で快適な生活を送れ、豊かさを実感できる地域づくり及び海域・河川など公共水域の水質保全、浸水防除を目的とした事業です。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市では、地域の状況に合わせ、大きく分けて3つの下水道事業（公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水）と浄化槽で汚水処理を行っており、汚水処理人口普及率は87.8%、水洗化率は91.2%と高い水準にあります。こうした中、公共下水道については、整備計画の見直しを行い、区域の整備と合併浄化槽の設置を併用し、整備率の向上に努めています。また、一方で施設そのものの老朽化が進んでおり、今後は長寿命化などの維持管理面に重点を移していく必要があります。あわせて、社会情勢の変化にある中、下水道使用料が減少傾向にあり、経営の安定化が大きな課題となっています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道の整備 合併浄化槽の整備 下水道等整備済区域の水洗化促進 施設の適正な維持管理 健全財政の維持 雨水対策の推進 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H25
重要度	3.91
満足度	3.14



調査結果に対するコメント、市民の反応等	満足度、重要度がやや高いのは、整備による普及率の向上と90%を超える水洗化率から理解できます。日生・吉永地域の整備が完了し、備前地域も整備が終盤に近づくなか、下水道の完成、整備区域内の水洗化促進を望む声もあることから、未整備区域の整備を効率的、計画的に実施し、あわせて未接続者への接続を周知していきたい。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H23	H24	H25			H26	H27
汚水処理人口普及率	目標	%	86.0	87.0	88.4	汚水処理人口÷市内人口	H26	89.0	
	実績	%	86.4	87.8	88.2	市内の人口に対して公共下水道、農・漁業集落排水、合併浄化槽を利用できる人口の割合	H28	90.3	
	達成率	%	100.5	100.9	99.8		H34	94.2	
	ベンチマーク		80.8	81.7	82.4	岡山県平均値	—	—	
水洗化率	目標	%	90.0	90.0	90.0	水洗化人口÷供用開始人口	H26	90	
	実績	%	91.6	91.2	90.6	下水道整備済区域内で水洗化している人の割合	H28	92	
	達成率	%	101.8	101.3	100.7		H34	100	
	ベンチマーク		88.9	88.0		全国事業別類似団体平均値	—	—	
放流水質COD値	目標	mg/L	15.0	15.0	15.0	COD値 (化学的酸素要求量) mg/L 値が大きいほど汚れていることを示す	H26	15	
	実績	mg/L	8.4	8.4	8.1		H28	15	
	達成率	%	178.6	178.6	185.2	H34	15		
	ベンチマーク		30mg/L以下	30mg/L以下	30mg/L以下	水質汚濁防止法による排水基準値	—	—	
参考指標③	目標								
	実績								
	達成率	%							
	ベンチマーク								

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市水道課	下水道使用料徴収委託	水道料金と合わせて徴収することによる事務の効率化と徴収率の向上
備前市水道課	水道管移転補償費	下水道、水道工事の連携による経費の削減

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)				
1	<成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	市の総人口に対する公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水、合併浄化槽など整備済区域内人口の比率を表す指標で、市の汚水処理の整備状況が把握できます。これらの事業は、市民が快適な生活を送れる環境を築くため、市が計画的に推進する必要があり、また、海域・河川など公共水域の水質保全のための重要な施策です。			
2	<事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	人口減少がすすんでいる等社会情勢の変化や厳しい財政状況のなか、下水道整備計画を見直し、汚水処理について合併浄化槽設置の推進など、地域の特性にあわせて効率的な整備手法を選択して適正に事業推進を図っています。			
3	<施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	現在、汚水処理普及率は88%、水洗化率も90%を超え、高い数値です。公共下水道整備は終盤を迎えてきており、また浄化槽設置数も徐々に増えてきています。今後、普及率も上がる見込みです。放流水質については、施設の老朽化がすすんできていますが、長寿命化事業をすすめることで、処理の安定、維持管理コストの削減をめざしています。			
進行年度 (H26年度) の取組内容 (課題解決状況)		見直した下水道整備計画にあわせ、未整備区域を効率的、計画的に整備していくとともに、供用開始から3年を経過した未接続者への訪問及び啓発、また広報でも接続の周知を行い、水洗化をすすめます。日生浄化センターについて策定した長寿命化計画を補助事業として計画的にすすめるため、運転管理方法の協議を行い、実施設計など契約をすすめます。				
翌年度 (H27年度) の取組目標		公共下水道の未整備区域を整を効率的、計画的に整備していくとともに、合併浄化槽設置補助金の嵩上げを継続し、計画区域外の浄化槽設置の普及促進を図ります。日生、吉永浄化センターの施設の老朽化による事故を防ぐため、まず日生浄化センターの長寿命化工事を計画的にすすめます。				
二次評価者コメント 役職 まちづくり部長 氏名 高橋昌弘		下水道整備事業は終盤を向かえており、これに代わり今後は維持管理が重要となるため、社会情勢に見合った効率的な施設等の更新が行なえるよう努力して頂きたい。			基本施策への 貢献度 4 やや高い	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位：千円, 人)										施策への 貢献度
			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
01 公共下水道施設整備事業	管渠整備事業	補助	417,380	33,170	4.74	648,993	36,927	4.99	390,696	32,228	4.19	515,002	☆☆☆☆☆
	認可変更委託業務	法定	735	667	0.07	19,507	1,145	0.12	6,510	893	0.09	0	* 法定事務
	水道管外移設補償事業	単市	59,712	1,658	0.21	108,930	481	0.06	90,593	400	0.05	73,000	☆☆☆
02 浄化槽設置補助事業	浄化槽設置補助事業	補助	41,812	1,516	0.20	35,916	1,745	0.22	29,216	1,215	0.16	41,800	☆☆☆☆☆
03 雨水施設整備事業	管渠整備事業	補助	0	1,206	0.17	9,379	529	0.08	14,801	1,192	0.16	41,000	☆☆☆☆
	水道管外移設補償事業	単市	0	0	0.00	0	79	0.01	0	0	0.00	0	☆
04 水洗化普及事務	啓発事務	単市	0	1,191	0.15	0	794	0.10	0	475	0.06	0	☆☆
	水洗便所改造資金融資斡旋事務	単市	12	79	0.01	12	79	0.01	5	0	0.00	29	☆☆
05 公共下水道施設管理事業	浄化センター外管理事業	単市	330,225	27,946	2.83	319,425	25,697	2.68	253,645	26,538	2.73	358,447	☆☆☆☆☆
	管渠施設管理事業	単市	27,001	2,163	0.38	44,777	2,661	0.38	50,006	3,257	0.47	43,766	☆☆☆☆
	長寿命化対策事業	補助	36,400	404	0.04	16,000	570	0.06	6,232	761	0.09	31,400	☆☆☆☆☆
06 農業集落排水施設管理運営事業	農業集落排水施設管理運営事業	単市	35,393	403	0.04	35,157	606	0.06	35,312	516	0.05	54,301	☆☆☆
07 漁業集落排水施設管理運営事業	漁業集落排水施設管理運営事業	単市	16,420	568	0.06	18,763	783	0.08	15,512	749	0.08	50,466	☆☆☆
08 個別排水処理施設管理運営事業	個別排水処理施設管理運営事業	単市	24,147	107	0.01	23,779	555	0.05	21,647	317	0.03	24,802	☆☆☆
09 排水設備検査事務	排水設備検査事務	単市	0	3,452	0.59	0	4,128	0.60	0	4,583	0.66	0	☆☆
10 受益者負担金賦課徴収事務	受益者負担金賦課徴収事務	内部管理	10,157	2,245	0.28	7,063	3,302	0.41	32,318	1,922	0.24	9,285	☆☆
11 下水道財政管理運営事務	上下水道審議会運営業務	単市	0	0	0.00	124	943	0.10	169	2,154	0.23	195	☆☆☆☆
	日本下水道協会負担金	単市	205	0	0.00	107	0	0.00	96	0	0.00	97	☆
	日本下水道協会中四国支部負担金	単市	20	0	0.00	20	0	0.00	20	0	0.00	19	☆
	日本下水道協会岡山県支部負担金	単市	0	0	0.00	98	0	0.00	98	0	0.00	97	☆
	和気赤磐共同コンポスト事務組合負担金	単市	43,269	0	0.00	0	100	0.01	0	0	0.00	0	* H23終了
	下水道事業債管理事務	内部管理	1,936,818	2,203	0.22	1,937,864	996	0.11	1,974,169	793	0.09	1,960,197	☆☆☆☆☆
12 下水道使用料賦課徴収事務	公営企業会計移行業務	内部管理							0	5,431	0.62	0	☆☆☆☆
	下水道使用料賦課徴収事務	内部管理	15,178	2,144	0.27	15,172	2,343	0.29	12,972	872	0.11	15,821	☆☆☆☆
この施策に費やした資源 (単位：千円, 人)			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度	
			2,994,884	81,122	10.27	3,241,086	84,463	10.42	2,934,017	84,296	10.11	3,219,724	